

報道関係者の皆様へ

2008年8月吉日

変わらない心と、あたらしい心

和菓子とともに、日本の魅力を伝える

とらや東京ミッドタウン店ギャラリー 第8回企画展

月と暦 展

<会期:2008年9月1日～11月10日>

とらや東京ミッドタウン店は、和菓子だけではない和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいと、初めてギャラリーを併設した店舗として、昨年3月にオープンいたしました。以来現代においても皆様の生活のなかで輝き続けることのできる様々な和の価値をご紹介します。

今回は、第八回のギャラリー企画展「月と暦 展」についてご案内申し上げます。

● 日本人の生活と月との深い結びつきを知る「月と暦 展」

古来、日本人は月の満ち欠けで日にちを知り、日々の生活は月とともにありました。

月が美しく「十五夜」「十三夜」などの行事があるこの時季、月にまつわるさまざまな謂れや旧暦についてご紹介します。会期の前半は、月の呼び名や月を愛でる古来の美意識を、後半は年中行事と和菓子の関わりをご覧ください。季節の節目を大切に、四季の恵みを神様に感謝する。旧暦を通して、かつての季節感を知っていただければと思います。

開催にあたり、旧暦を中心に日本の伝統文化の研究をされている高月美樹様と、「年中行事」や贈物の包みの礼法である「折形」を研究されている折形デザイン研究所様にご協力いただきました。

企画展限定販売「旧暦 和菓子ごよみ」

江戸時代まで使われていた太陰太陽暦（旧暦）をベースにした平成21年の暦（手帳）を企画展のために作りました。

月の満ち欠けと二十四節気や雑節とともに、時節の和菓子をご紹介します。たとえば、旧暦の頃の元旦は立春の頃であるなど、現在は寒さ厳しい頃に迎える新年を「初春」や「迎春」といって寿ぐのはなぜか、など、旧暦の暮らしの中で生まれた折々の言葉の意味を知ることができます。（1,890円）

<展示情報>

場 所： とらや東京ミッドタウン店内 ギャラリー（東京都港区赤坂 9-7-4 東京ミッドタウン ガレリア地下1階）

会 期： 2008年9月1日（月）～2008年11月10日（月）

月見にちなんだ和菓子を作る教室などのワークショップも予定しています。

時 間： 11:00～21:00（店舗営業時間と同じ） 無休（東京ミッドタウン休業日に準じます）

掲載用問い合わせ先：とらや東京ミッドタウン店 03-5413-3541

取材用問合せ先：株式会社虎屋 広報部 03-3408-4128